

道徳科 学習指導案

2019年6月8日（土）学習指導Ⅲ （1の3教室）1年3組 指導者

I 主 題 すなおにすごすと

II 考 察

1 主題観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

①知識及び技能

失敗のごまかしをしないで素直に生活することのよさについての理解

②思考力，判断力，表現力等

失敗のごまかしをしないで素直に生活することについての自己の考え

③学びに向かう力，人間性等

失敗のごまかしをしないで素直に生活しようとする意欲と態度

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

A 主として自分自身に関すること

2 正直，誠実〔第1学年及び第2学年〕

うそをついたりごまかしをしたりしないで，素直に伸び伸びと生活すること。

(3) 主題と教材の価値

本主題は「正直，誠実」の内容項目のうち，失敗のごまかしをしないで素直に生活することについて考える学習である。その価値は以下のとおりである。

失敗のごまかしをしないで素直であることは大切である。なぜなら，失敗をしてもしっかりと反省して自分自身の成長につなげ，明るいい心で伸び伸びと生活することができるからである。しかし，ごまかしをすると，罪悪感を感じ自分自身の心を苦しめたり，周りの人に迷惑をかけたりにしてしまうことになる。つまり，ごまかしをすることで，一時的な苦しみや恥ずかしさからは逃れることができても，明るいい心で伸び伸びと生活することができない。したがって，失敗のごまかしをしないで素直に生活しようとする意欲と態度を身に付けていくことが大切となる。

第1学年の子どもたちは，忘れ物や友達とけんかをした時に自分の行為や心情を素直に伝えようとするなど，失敗のごまかしをすることはいけないことだと知っている。しかし，失敗のごまかしをする姿も見られる。これは，友達や家族や教員から叱られたくない，恥ずかしい思いをしたくないなどの思いが働くからである。このような子どもたちが，失敗のごまかしをしないで素直に生活することについて考えることで，ごまかしをしないと自分の心がすっきりすることに気付き，失敗のごまかしをしないで素直に生活しようとする意欲と態度を養うことができる。

そこで，教材「ぼくはずかしいや」を使用する。教材の内容及び価値は次のとおりである。

主人公は母親からおつかいを頼まれたが，頼まれたものを食べてしまう。母親から食べられた

跡について聞かれると、友達に食べられたとごまかしをしてしまう。しかし、3回目にごまかそうとした際には、ごまかしをできずに笑ってしまい、その様子を見た母親も口を開けて笑い、母親を見た主人公は笑いながら恥ずかしがる、という内容である。

頼まれたものを食べたことのごまかしをする主人公の姿から、子どもたちは失敗のごまかしをしないで素直に生活することの問題意識を高めることができる。また、ごまかしをした時としなかった時の主人公の心情に着目することで、ごまかしをしないと自分の心がすっきりするという、失敗のごまかしをしないで素直に生活することのよさに気付くことができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、1年「しょうじきなひと」での、うそをつかないで正直に生活することについて考える学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちはこれまでに日常生活で、失敗のごまかしをしたりしなかったりしてきている。その中で明らかになった子どもたちの実態及び本主題を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ① 失敗のごまかしをしてはいけないことを知っている。このような子どもたちが、失敗のごまかしをしないで素直に生活することのよさを理解できるように、ごまかしをしている時の主人公の心情に関わって、大切だと思ったことを共有する機会を設定する。
- ② 失敗のごまかしをしないで素直に生活することについて、自分の心情を基に考えられるようになってきている。このような子どもたちが、失敗のごまかしをしないで素直に生活することについて、多面的・多角的に考えられるように、ごまかしをしている時としていない時の主人公の心情を対比し、主人公の行為と心情を視覚化して板書する。
- ③ 失敗のごまかしをしないようにしてきている。このような子どもたちが、失敗のごまかしをしないで素直に生活しようとする意欲と態度を養えるように、振り返りの際に、失敗のごまかしをしないで素直に生活することのよさを捉えた上で「これからしていきたいこと」の視点の提示をする。

Ⅲ 指導計画 ※Ⅲについては、別紙参照

Ⅳ 本時の学習（1／1時間目）

- 1 ねらい ごまかしをしている時の主人公の心情について話し合うことを通して、ごまかしをしないで素直でいると自分の心がすっきりすることに気付き、失敗のごまかしをしないで素直に生活しようとする心情を養う。
- 2 準備 場面絵
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 教材を読み、学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋が汚い時に、片付けをなさいって言われて、もうやったよってごまかしたことがあるな。 ・食べたことをごまかしているけど、うそだと気付かれているね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のねらいとする道徳的価値への方向付けができるよう、失敗をしてごまかした経験を問いかける。 ○教材「ぼくはずかしいや」の内容を把握できるように、範読後に場面絵を提示し、登場人物の行為や心情、状況を整理して板書する。

・こんきちくんはよくないことって分かってやっているのかな。それとも分からないでやっているのかな。どんな気持ちなのかな。

○失敗のごまかしをした時の心情についての問題意識を高められるよう、ごまかしをしている主人公についての感想や疑問を問いかける。

学習課題「ごまかしをしているこんきちくんは、どんな気持ちなのだろう」

2 学習課題の解決に向けて話し合う。

・実際にやってみると、こんきちくんは、うそをついてごまかしているから嫌な気持ちだと思うよ。正直に言おうか迷っている気持ちもあったと思うな。

・食べたことが気付かれないぐらいの量で、お母さんに迷惑をかけなかった時も、うそをついてごまかしているわけだから、自分の心がモヤモヤしちゃって、やっぱり嫌な気持ちになってしまっていると思うな。

・ごまかしていたことをお母さんに怒られたり、笑われたりするの嫌で、ごまかそうとしたのではないかな。2回ごまかせたのだから3回目もごまかそうとしたのだと思うよ。

・「お母さん。今までごまかしていてごめんなさい。友達が食べていたんじゃないかとぼくが食べていたんだ。」って言いそうな気がするな。

・うそをついたことをごまかさないとすることは、少し恥ずかしいけれど、自分の心がモヤモヤしないですっきりした気持ちで生活できるから、こんきちくんみたいにごまかすのではなく、ごまかしをしない方がいいな。

・失敗をした時に、少し恥ずかしいかもしれないけれど、ごまかしをしなければ明るく生活することができるよ。恥ずかしいと思って、ごまかしをしてしまうと自分もって嫌な気持ちになってしまうな。

3 これからの自己の生き方への思いについて考える。

・これからは授業で必要な物を忘れてしまった時にも、先生や友達に素直に言いたいな。

○学習課題に対する考えを学級全体で共有できるよう、動作化した友達の様子を見ながら、学習課題に対する考えを発表するよう促す。

○ごまかしをした時の心情がお母さんに対する思いに偏った際、主人公自身に対する思いに気付けるよう、お母さんが気付かないぐらいの量を食べた場合の主人公の心情を問いかけ、ペアで伝え合うよう促す。

○失敗のごまかしをしてしまう人間の弱さに気付けるよう、主人公がごまかしをしてしまった理由を問いかける。

○主人公の立場を自分と結び付けてごまかしをしないことについて考えられるよう、主人公がごまかしをしない場合の役割演技をするよう促す。

○失敗のごまかしをしないで素直に生活することのよさについて気付けるよう、3回目にごまかしをしていない場合の心情を問いかけ、ごまかしをしている時としていない時の心情を対比して板書する。

○失敗のごまかしをしないで素直に生活することのよさについて自覚できるよう、課題に関わって大切だと思ったことを問いかける。

— 評価の視点 —

失敗のごまかしをしないで素直に生活することのよさについて、多面的・多角的に考えたことや、自分との関わりで考えたことを、発言したり、友達の発言を聞いてうなずいたりしている。 <発言・行動①②③>

○失敗のごまかしをしないで素直に生活することを、自分の生活と結び付けられるよう、「これからしていきたいこと」の視点を提示する。

○これからの生活への意欲をもてるよう、生活の見通しを具体的にもてたことを称賛する。

指導計画（全1時間）

ね ら い	ごまかしをしているときの主人公の心情について話し合うことを通して、ごまかしをしないで素直でいると自分の心がすっきりすることに気付き、失敗のごまかしをしないで素直に生活しようとする心情を養う。	
教材	ぼく はずかしいや	
主題 構成	導入では、失敗のごまかしをした主人公についての感想や疑問を話し合うことで、失敗のごまかしをしないで素直に生活することについての問題意識をもつことができる。展開では、主人公がごまかしをしている時の心情を基に、ごまかしをしている時としていない時の心情を対比することで、失敗のごまかしをしないで素直に生活することのよさに気付くことができる。	
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>
導入	○教材を読み、学習課題「ごまかしをしているこんきちくんは、どんな気持ちなのだろう」をつかむ。	
展開	○学習課題の解決に向けて話し合う。	◇失敗のごまかしをしないで素直に生活することのよさについて、多面的・多角的に考えたことや、自分との関わりで考えたことを発言したり、友達の発言を聞いてうなずいたりしている。 <発言・行動①②③>
終末	○これからの自己の生き方への思いについて考える。	
他の 教育 活動 との 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、失敗のごまかしをしないで素直に生活しようとする場面 例：忘れ物をした時に、先生に素直に伝える場面 休み時間に遊んでいて、始業時刻に間に合わず、遅れたことを素直に伝える場面 友達とけんかをした時に、自分が友達に対してしたことを友達や先生に素直に伝える場面 	